

# ポケモン転生inダンまち世界

アカヤシ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

事故で死んで日本人が異世界に転生するありきたりな話。

目次

## 第1話

『ピカチュウ』

ゲーム「ポケットモンスター」シリーズに登場するモンスター（ポケモン）のキャラクター。

ゲーム自体やったことがない人でも、一つのキャラクターとして老若男女問わず知っているであろう最も有名なポケモンである。

その存在はもはやポケモンの看板そのものであり、なくてはならない存在である。

そのピカチュウの姿で転生した日本人。前世の名前は残念ながら覚えていない。前世の記憶も多少覚えている程度ある。

一番新しい記憶はバイクで直進中にUターン禁止の場所で反対車線から車が・・・ドンッ！と衝突してぶっ飛んだ記憶で終わっている。おそらく事故で亡くなったのだろう。

記憶が欠損した状態で転生した俺。だがこれだけは断言できる。

「ピカチュウウウウウウウ（絶対ここポケモンの世界じゃねえええええ!!!）」

俺は今追いかけてる。

『ヴヴォオオオオオオ!!!』

牛頭人体のモンスターにだ。

「ピカピカアアアア（しっけええええ!!!）」

目が覚めたら体がピカチュウになって↓辺りは人の手が全く入っていない森の中で↓初遭遇が人間ではなくモンスター（超リアル牛頭野郎）↓逃走（現在ココ）。

「ピカピイイイイイ（サトシイイイ!!!）」

相手は超リアルな牛頭に屈強そうな体躯、手には血で染めた斧。俺は大きさ約40cm、重さ約6kgでピカチュウの平均的なサイズ・・・無理！超怖い！逃げるが勝ち！

幸い俊敏は上回っているようで徐々に間隔が広がっている。逃げ切れると確信した次の瞬間、

「ピカ？（え?）」



